

久留米大学では、厚労省から提供されるレセプトデータを活用して下記の研究を行っています。本研究で使用される診療情報等は他機関への提供は行いません。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】 ナショナルデータベースにもとづく特定地域の薬剤処方と疾患の関連の実態調査

【情報の対象者（研究対象者）】

対象期間：平成23年から平成30年3月の間の毎月のレセプトデータ

【診療情報等の項目】 院内、院外、DPC、歯科、調剤の各レセプト

【研究目的】

医療ビッグデータである NDB データを利活用し、今後の地域包括ケアシステムにおける地域特性に基づく特定の地域の薬局薬剤師の今後の課題とその対処法を探索することを目的とする

【研究期間】 久留米大学倫理委員会承認後から2024年3月まで

【利益相反に関する事項】

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません

【問い合わせ先】

研究責任者：久留米大学病院 臨床研究センター 金子 富美

問い合わせ担当者：久留米大学病院 臨床研究センター 金子 富美

電話：0942-65-3749（内線5507） E-mail: kaneko_fumi@kurume-u.ac.jp